きれ その美し 堀 () 風景を、未来の子供たちへ にまきわら船が浮かぶ



その一つが後継者づくり 継続していくための知恵と工夫

旧魚半別邸を我々の拠点にしたこと 4番目、これは最近のことですが 委員会」。3番目が堀川の清掃を通 す。2番目が、「熱田天王祭」を復活 番目が、熱田の歴史や文化を伝える 柱について簡単にご説明します。 方法を探っています。 のようにして残していくか〟という から「古民家の活用」、具体的には〝ど させ、残していく「堀川まつり実行 ミニコミ紙「あつたっ子」の発行で 我々の活動の中 して〝水辺の環境を良くする〟活動。 い方も少なくないと思いますので 『堀川まちネット』をご存知のな 心となっている4本

習センター講座への協力、あるいは これは、1990年に第1回「堀川 る団体〟と言われることもあります。"ちょっと毛色の変わった活動をす 育成にも取り組んできたことから、 [祭りやまちづくり]を行う後進の 参加したり、青年の家講座や 比較的早くから学童イベントに 生涯学

> 王祭」はなぜ消滅したのか、狼活しまつり」を実施したとき、『熱田天 りました。 「継続と後継者づくり」が一体とな に真正面から向き合わざるを得な くためには何が必要か〟ということ た祭りを50年、 かったからです。 10年先へと残して その結論として、

ものでありません。足だけでやっていては、とても続く えると、どんな活動にしても自己満 初めて成立するものです。 る人たちの応援、祭りを支える"ま祭りを愛し、祭りを見に集まってく する人だけで、祭りはできません。 く知恵と工夫」があります。祭り うですが、そこには「継続させて 各地に残っているお祭りにしてもそ が自己満足で終わっているからです。 間で尻すぼみになっていく現実を見 体が発足しますが、その多くが短期したい。ということから、色々な団 ち〟の存在など、色々な要素が整って、 てきました。なぜかと言えば、大半 ″あれをやりたい〟″こんな活動を それを考 を

ご褒美がやって来る 真剣に向き合うと つ一つのことに い変化という

を続けることができました。 あり、その刺激を受けて成長・発展 ると、必ず新しい出会いや出来事が す。活動がマンネリになりそうにな 工夫よりも〝運が良かった〟の一言で 30年間を振り返ってみれば、知恵と く知恵と工夫〟などと言いましたが、 年となります。先ほど、〝継続して 刊していますから、我々の活動も30 985年に「あつたっ子」を創

中で、 年に第1 民家の活用」という新たな活動が加邸に事務所を移転したことで、「古 では、2013年に現在の旧魚半別NPO法人へと変わりました。最近 り、2004年には任意団体からに〟と「堀川一斉大そうじ」が始ま は*祭りの場である堀川をきれい 想が加わりました。1999年に体となった祭り』という新たな発 を学習することで、まちづくりと一 ました。堀川まつりを続けていく ループが加わり、5年後の1990 熱田天王祭を復活したいというグ ミニコミ紙を発行している時に、 1995年には博多の祭り 回「堀川まつり」が始まり

があって、現在の我々があるわけで や出来事

堀川まつり



旧魚半別邸 向かって左の洋館が大正13年 (1924)築、右の日本家屋が昭和3年(1928)築

法人となったわけです。 します〟と言われました。これが決ところ゛NPO法人なら補助金を出 に行き、NPOの検討中と説明した め手となって、2004年にNP 助金を出すという団体にお話を聞き が出ませんでした。そうした中、 多いと二の足を踏む人もあり、 ました。 2年間ほど議論を重ねまし たが、NPOになると面倒なことが 中、結論 0

べる企画を名古屋市から持ち込まれ名古屋城のお堀にまきわら船を浮か 分かりました。これを受けて、我々 るなど、、公的な評価、が高いことが のですが、名古屋開府400年の時 も〝信頼される団体〟という認識が深 最初は、それほど実感がなかった 内部的にも、 色々な面で成長して 、大きな影響がもたで成長していきまし

名古屋城のお堀に浮かぶ、まきわら船

我々も座して待っていたわけではな が良かった。ということです。ただ、 のではありません。その意味で、〝運 すが、いずれも最初から意図したも

大きなインパクトが 偶然のきっかけで

けた人がいて、NPO化を提案されメンバーの中に情報の先取りに長

らされた NPO 法人化でした。

子ども時代は汚くて臭い堀川 きれいな川の思い出づくりに

それが貴重な思い出となって、祭り ジしかありません。でも、そんな堀 発生する汚くて臭い川というイメ を復活させる活動に参加することに 川にまきわら船が浮かんでいました。 私の子ども時代の堀川は、ガスが

化と広がり』という、ご褒美につな 組んできました。それが、新しい変

べてのことに一所懸命に取り

がっているのだと思います。

ジー という、もっと美しい風景をプレゼ 川に、まきわら船が浮かんでいた。 きわら船が浮かぶ堀川〟のノスタル なりました。 ントしたいと欲張っています。 の子どもたちには、きれいな水の堀 幸い、今のお子さんたちには、ま を残すことができました。未来

まだ、きれいな川、と呼べるほどで段に良くなってきていますが、まだ います。は、その夢が実現されたらと願って 歩みではなく、あと20年か30年先に いにするといったノンビリとしたはありません。100年かけてきれ た堀川、子ども時代から比べれば格 00年間かかって汚されてい

